

職員による自己評価

保護者による評価

- A業務改善**
 - ・保護者勉強会は会場とオンラインで同時に行い、行事は中止にせず実施方法を工夫した。
 - ・業務改善プロジェクトを発足し、業務の量や内容について検討を重ねている。
- B適切な支援の提供**
 - ・保護者の意向を聞き、個別支援計画作成後に面談で確認するため、一人ひとりに合わせた支援ができています。
 - ・打ち合わせや振り返りを行う時間が少ない。
- C関係機関との連携**
 - ・併行先へは、必要に応じて他職種も一緒に訪問している。コロナまん延中は電話で行っている。
 - ・お子さんの情報共有や共通理解を図るために、就学先と引き継ぎを行っている。
- D保護者への説明責任等**
 - ・連絡帳や電話、年3回の面談等で、お子さんに関して保護者と共通理解ができています。
- E非常時等対応**
 - ・月1回の避難訓練や緊急時シミュレーションを実施し、非常時の意識を高めている。

- A適切な支援の提供**
 - ・個別支援計画に沿った支援が行われていると9割以上の方に満足していただいている。
- B保護者への説明等**
 - ・連絡帳や電話等でのコミュニケーションは出来ている意見が多かった。一方で具体的な助言や家族支援がない、働いている保護者への理解や配慮が少ない、丁寧さが不足しているなどの意見があった。
 - ・保護者同士の交流の回数を増やしてほしいという意見があった。
- C非常時等対応**
 - ・非常災害時や緊急時の対応が周知・説明され、避難訓練も行われている。
- D満足度**
 - ・約9割の方から、「お子さんが通園を楽しみにしている」との回答をいただいている。
 - ・「楽しそうにバス停で待っている」「通園日は朝の支度が早い」といった意見もいただいた。



通園課内での分析

- 【共通点】**
 - ・お子さんや保護者のニーズや課題を認識し、個別支援計画に沿った支援が行われている。
 - ・職員と保護者間で、お子さんの共通理解ができています。
 - ・昨年度に引き続き、コロナ禍の状況であり、保護者同士の関わりや交流の場が少なくなっている。
- 【相違点】**
 - ・職員から保護者への的確で具体的かつ丁寧な助言が不足している。
 - ・働きながら通園されている家庭への理解や負担の軽減についての検討が不足している。
 - ・昨年度に引き続き、職員の業務の見直しや整理、改善を必要としている。

分析・検討してみたて…

通園課の強み

- ・保護者と職員間とで伝え合い、お子さんの発達状況や課題について、共通理解ができている。
- ・クラスの活動内容や行事予定などの情報を保護者に対して発信している。
- ・非常時に備え、毎月の避難訓練(訓練時間や避難場所、想定内容を変えて)や引き取り訓練を実施している。
- ・併行先との連携ができている。

通園課の改善点

- ・クラスの打ち合わせや準備、振り返りを行う時間の確保をするために、業務内容を見直し実行していく。
- ・保護者支援や療育スキル、コミュニケーション力などの専門性や人間性を高められる様々な研修を考えていく。
- ・お子さんや保護者のニーズを聞き取るだけでなく、家庭の環境や状態を把握できるよう、アセスメントを丁寧に行う。
- ・行事を活用した保護者同士の関わりや交流の場を提供していく。

通園課の改善への取り組み

- ・業務改善プロジェクトでの検討結果をもとに、ICTシステムの活用を進めながら、業務内容の見直し・整理・改善を行う。
- ・一人ひとりの職員の専門性や人間性を高めるために、研修の充実を図る。
- ・それぞれの家庭の環境を踏まえた支援内容の検討を行う。
- ・保護者同士の関わりや交流の場を提供できるように行事内容を工夫する。

～自己評価を行っての通園課としての感想など～

令和4年度も新型コロナウイルスの対応は続きましたが、感染症予防に配慮した実施方法を工夫することで予定の行事を中止にせず、概ね実施できました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

今回の評価結果やご指摘いただいたご意見を踏まえ、今後もお子さんのできていることの積み重ねを大切に、心あたたまる療育を提供できるよう、取り組んでまいります。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。